

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え

TSUNOBUE

2024年1月1日

第449号



社会福祉法人

小羊学園

住所 〒433-8105 静岡県浜松市中央区三方原町2709-12

電話 053-584-3337 FAX 053-585-8488

E-mail sasaeru@kohitsuji.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人 稲松 義人

印刷所 アド・アール株式会社



今号のMENU

1 P...

理事長巻頭言

2 P-3 P...

特集

地域連携を考える

4 P-5 P...

第12回小羊学園

ふれあい運動会

障害のある人にやさしい

外出スポット

6 P...

わかぎ秋祭り

リレートーク

知っとク福祉

支える会報告 他



日中活動部門研修 アサーティブコミュニケーションについての学び

新年を迎えた。これからのことを考えるとき、過去のことを振り返るような年齢になった。創立者山浦俊治理事長が急逝した翌年、1995年は戦後50年の年だった。阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、金融機関の破綻など、戦後の経済発展を問われた年だった。国も様々な分野で変革の必要を訴え、福祉政策でも社会福祉基礎構造改革が進められてきた。今、振り返るとこれまで理事長としての私の役割は、変革の時代へ対応した事業展開であったような気がしている。もちろん実際にその苦労の最前線にいたのは、それぞれの現場で役割を担ってくれた職員たちである。入所施設から、グループホーム、ライフステージに沿った通所系の施設、相談支援など、小羊学園の事業も地域に広がった。また、様々な福祉サービス事業者が参入し、サービス利用者も大きく膨らんだ。各事業者は、利用者を得るために宣伝し労働人口の少ない時代に職員の確保に努力する。今、社会福祉の実践において「地域」のあり方が問われている。そこは事業経営のための「市場」なのか、様々な人が支え合う「共生の場」なのか。今年は、福祉の哲学を問う一年にしてみたい。

稲松義人

地域連携を考える

小羊学園の実践から見えるもの

ひと昔前のように地域住民同士の付き合いが減少している現在、人との結びつきを公的な福祉サービスが担うことが増えていきます。

障がい福祉分野でも、以前はご家族の困り事を当事者同士で打ち明けていましたが、現在は相談支援事業所が相談に乗り、当事者団体への加入者数が減っています。

では福祉サービスはどうでしょう。障がい福祉制度の移り変わりで社会福祉法人だけでなく多様な法人・会社が事業を運営できるようになり福祉サービスは拡充しています。ただ、事業所が増えても個々が自事業だけを見ていたら地域づくりにはなりませんよね。

そこで今回は小羊学園が関わっている幾つかの実践から2つの事例をご報告しますので、ご一読ください。

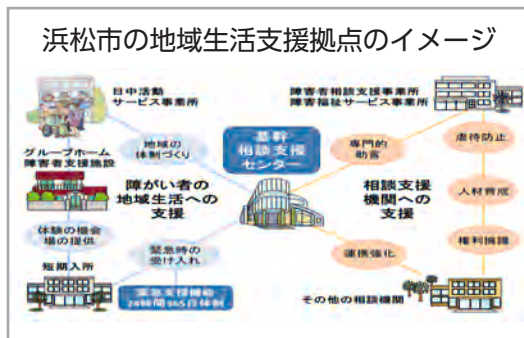
地域生活支援拠点等整備事業

浜松市障がい者基幹相談支援センター
センター長 雨宮 寛

地域生活支援拠点等の整備とは、障がいの重度化・高齢化や「親なき後」を見据え、居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がいの者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することとされています。

浜松市障がい者基幹相談支援センター（以下、センター）は2018年4月、浜松市内5法人（小羊学園、聖隷福祉事業団、天竜厚生会、至空会、好生会）による共同運営企業体として設置され5年目になります。センターは、浜松市より障がい児者に関わる相談機関の中核を担う基幹相談支援センター事業と今回のテーマでもある地域生活支援拠点等整備

事業の市全体の体制整備におけるコーディネート機能が委託されています。



「親なき後」を見据えは印象的で少々重い言葉にも感じます。本人や家族の安心を担保できる地域の支援体制とは？障がいの特性、家族背景、ライフステージ、地域の特性等々、様々な個々の違いを考慮した支援体制の構築が求められます。しかし、最後の砦は入所施設と言われていた時代から多様なサービスが提供される今日においても「親なき後」は変わらない課題となっています。

「相談」緊急時の相談支援体制

障がい者を介護するご家族の急病や事情により地域生活が困難になる

重層的な相談支援体制(浜松市)

- 基幹相談支援センター(第3層、1カ所)**
 - 地域における相談支援体制の整備や社会資源の開発等
- 委託相談センター(第2層、5カ所)**
 - 支援に係る地域のワンストップ窓口、一般的な相談支援
- 一般相談・特定相談(第1層、50カ所)**
 - 基本相談、サービス利用支援、継続支援等

等の緊急時に、迅速な対応を行うため「浜松市障がい者緊急時対応事業」として体制整備を行っています。利用のための登録書を通じて、ハイリスク障がい児者を事前に把握・登録し、障がい特性に応じた必要な支援のコーディネートを行い、24時間・365日（原則登録制）の相談体制で緊急時に備えています。因みに厚生労働省では相談支援の関係機関の機能分担を、相談支援事業の3層構造として示しており、浜松市の相談支援体制も同様に第1層として特定相談支援事業所（計画相談等）、第2層として障害者相談支援事業（委託センター）、第3層として基幹相談支援センターとなっています。

緊急時の受け入れ・対応

浜松市では短期入所(47カ所)の機能を利用した緊急時対応事業を展開しています。同事業の登録者48名となっており、事業開始から63名(実人数)の緊急対応を行っています。今後については、短期入所だけでなく、訪問系や通所系サービスとの協同によって住み慣れた家を拠点とした対応も求められています。

体験の機会・場の確保

親元からの自立や精神科病院からの退院、入所施設等からの退所にあたり、一人暮らしによる地域生活を希望される障がい者に対し、浜松市内にあるウィークリーマンションなどの場を活用(宿泊体験)し、自立生活を目指すための支援を行っています。買い物・自炊・通勤等々、体験プログラムの作成から実体験、1年後の後追い評価まで本人・家族、支援者と協同で取り組んでいます。2021年より10名が述べ68日の体験を行い、内2名が一人暮らしに移行しています。

他にも、医療的ケアや行動障がいをもつ人たちにに対し、専門的な対応ができる人材の養成(研修会)や支援体制づくりの検討の場設置な

ど、浜松市含め関係機関と協同で取り組みを行なっています。

「親なき後」を見据え”にはまだまだ足りないことばかりですが、さらなる体制整備に取り組んでいきたいと思っています。

浜松市障がい児放課後支援
連絡協議会 事務局

在宅支援センターぱびるす

施設長 紅谷 純

ぱびるすから感じる

在宅支援センターぱびるすは、就学前(幼児期)と就学後(学童期)の支援を行っています。就学前の支援では、幼稚園等と併行して利用される子どもが多くなっています。インクルーシブ社会のことを考えれば、

一般の幼稚園等で障がいがあっても無くても、育ちあえる環境が整うことはとても意義深いと感じます。子ども同士で支えあったり、子ども自身が刺激を受けて優しく関わることでできたりと、多くのことが成長につながっていくと思えるのです。

放課後等デイサービスでは、就学した児童・生徒を対象にサービス提供を行います。主に関わる機関は、特別支援学校や市内にある「学校」となります。今では、小中学校に発

達支援学級が多く設置されるようになり、学校によってはクラス数が年々増えている傾向にあります。こうしたことから「教育と福祉の連携」がとても重要となり、学校の先生たちと情報共有や連携を図ることが欠かせなくなり。教育と福祉を縦割りで考えるのではなく、横串を通じた多くの関係者で子どもや家庭をサポートしていくことが地域には必要です。私も教育関係者と関わる中で、学校の先生たちも、福祉に対する理解を深めてくださり、また、福祉を必要として感じて下さっている肌で感じともありがたく思いながら関わらせて頂いています。

放課後連として

浜松市障がい児放課後支援連絡協議会(以下放課後連)は、市内113か所の事業所が任意で加盟している団体です。毎月事業所が増えている状況ですが、浜松市においてはそれでもニーズに対する全体数や地域性を考慮すると事業所数は足りていないと実感しています。

放課後連では会員事業所の概要紹介ガイドブックの発行を行い、保護者、相談員、学校、行政、会員相互に情報を提供しています。また、会

員事業所の資質向上を目的に運営や支援に係わる多様な内容の研修も定期的に実施しています。

私は10年程前から放課後連の事務局の任を受けています。事務局を担う立場として①地域で顔の見える関係で繋がること②地域で子ども家庭をサポートできる関係機関のネットワーク作り③研修を通して質の向上に努めること等を大切にしています。今では、放課後連の活動において、事業所間の関わりを通じたネットワークが出来てきていると感じます。このものの支援は本当に多くの関係機関が関わるため、スピード感を持ちながら行政機関も含めて子どもや家庭を身近なところでサポートできる体制整備が図られることに期待しています。



BCP防災研修風景



児発管・管理者研修風景

第12回小羊学園ふれあい運動会

4年分の思いも込めて走り抜けたよ



運動会スタート

続々とグリーンアリーナに、各事業所のみんなが集まってくると「やっと復活できた。再会できた。」と、長い空白が吹き飛び、楽しい思い出が溢れてきました。みんなの顔からもこの後のプログラムを楽しみにしている表情が見られる一方で、大人数に戸惑い、緊張する表情も多く見えました。長いコロナ禍のため、今年が初めての参加になる仲間も多かったと思います。そんなドキドキとワクワクの中で4年振りのふれあい運動会が始まりました。



4年振りの運動会スタート

徒競走

「よいい、ピーー！」と笛の合図の前に、徒競走で一番大事なシーンがあります。それは、「第一コース！スクエアの〇〇さん」とマイクで会場に響き渡る声で名前を呼んでもらい「ハイ！」と元気に応え「がんばれー！」と皆から拍手を貰う、一人一人が今日の主役になる、とてもとても大事な場面です。大きな手で手を挙げて応える方ばかりではありません。うつむいて小さい声で恥ずかしがる方も中にはいます。でも心の中では、「久しぶりだね、元気だったあ？」「ここにいるよ！元気にやってみよう！」みんなとそんな会話をしているよ！みんなと違ひありません。そして、皆の声援の中それぞれの全速力で走り抜けるのですね。だから、手が痛くなるほど拍手で応援したくなります。

パン食い競争

小羊学園ふれあい運動会名物パン

食い競争、オリーブの樹が愛情込めて作った6種類のパンの中から、自分の欲しいパンをめぐって一斉に走り出します。欲しかったパンをゲットして「これ僕とつたよ！名前書いて！」と嬉しそうに職員に教えてくれるみんなの姿がとても印象的でした。

エキゾチッククラブ

約4年振りに、エキゾチッククラブの皆さんに来ていただきました。皆さんが知るアニメの曲や「WA」になっておどろろ」など、定番の曲を明るく元気に歌ってください。施設・年齢問わず、みんな大喜びでした。歌に合わせて一緒に踊る方も大勢いらっしやう、楽しい時間になりました。

玉入れ

午後の部、最初の競技を飾るのは玉入れです。午前中の種目とは打って変わり、事業所ごとのチーム戦となります。高い位置に設置されているカゴか、実行委員が持つカゴに玉を入れ、先に全ての玉を入れたチームの勝利です。みんなスタートの合図を待つ間に、落ちていた玉を拾って準備万端。今か今かと合図を待っており、やる気に満ち溢れた様子で

す。いざ競技が始まると一斉にカゴの側に向かい、ものすごい数の玉が飛び交います。高いカゴめがけて思いつ切り投げる方、低いカゴまで丁寧を持って行く方など、思い思いに競技を楽しませ、どのチームも最後の一個まで全力で取り組んでいました。



ボール送り

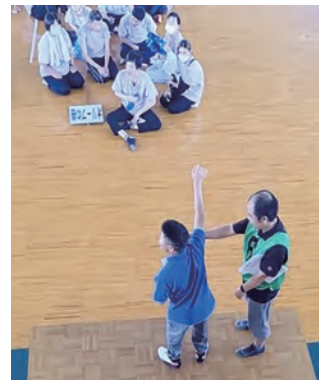
ボール送りは第1回運動会からある競技で、みんなが楽しんで参加できる競技です。目が見えない方、マイペースな方でも職員と一緒に上手に玉を転がしてくれました。力が強くボールだけが先に行ってしまうこともあり、それぞれ観客を楽しませてくれたのではないかと思います。

実行委員から

4年振りという事で企画する職員の間を掘り起こしながらの準備となりましたが、無事開催することが出来ました。不安な点も多くありましたが、みんなの満足気な顔を見ることができたので再開できて本当に良かったと思います。

来年度もお楽しみに！

ふれあい 運動会フォトギャラリー



小羊学園のお勧め!

障がいのある人にやさしい外出スポット

Vol.11

浜名湖体験学習施設

ウォット



【施設紹介】

浜名湖は淡水と海水が混じりあう珍しい湖で、たくさんの魚や生き物が生活しています。「ウォット」は大きな水槽で浜名湖の魚や生き物をみたり、タッチプールで触ったり「浜名湖とふれあい体験」ができる小さな水族館です。

館内はレイクシアター、アクアゾーン、体験ゾーン、学習ゾーンに分かれていて、ゲームやクイズ、シアター、写真パネル、数々の水槽などで詳しく展示・紹介されています。また、3F展望デッキからは浜名湖の景色もご覧いただけます。

【インフォメーション】

[住 所] 静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島 5005-3 [ご利用時間] 9:00~16:30(入館は16:00まで)

[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月30日~1月1日)

※GW・夏休み期間は毎日営業 ※休館日は変動になる場合がございます。

[入館料] 高校生以下、高齢者(70歳以上): 無料 ※年齢がわかる証明書をご持参ください。

障がい者・療育手帳をお持ちの方: 無料 ※介護者(1名)も無料で入館いただけます。

大人: 1人320円/団体(30人以上): 1人190円

[駐車場] 浜松市宮渚園駐車場をご利用ください(1日400円)



KOHTSUJI STAFF



リレートーク

Vol.29

もり えいこ
森 映子さん

2002年入職
ひまわり 主任



Q小羊学園を志した動機は？

社会人で聖隷介護専門学校に入学し、小羊学園でのアルバイト・ボランティアに参加。天真爛漫な利用者達に魅力を感じました。

Qこの仕事の嬉しいことは？

利用者の笑顔を見ると、胸がキュンとします。たくさん笑顔が見たくて、日々がんばって関わっています。こちらも自然に笑顔になりますよね。

Qちょこっとプライベートを教えてください！

物づくりが好きです。今は刺繍にはまっています。好きな作家の図案をネットで購入し、何も考えずに夢中になれる時間が好きです。

Q誰にリレーしましょうか？ また一言メッセージを！

デイケアの渥美雅世さんにバトンをつなぎます。いつもひまわりの皆さんとZOOM面会ありがとうございます。

わかぎ秋祭り

ご家族も久しぶりの交流

10/27に支援センターわかぎ秋祭りを行いました。ハロウィンの時期とも重なったのでフォトブースを作成してマント、魔女の帽子、カチューシャ各種、かぼちゃステック、かぼちゃの着ぐるみの仮装グッズ衣装を選んでハイチーズ📷

カフェテリアでは「オリーブの樹就労継続支援B型」の皆さんの「B-cafe」も開かれ大盛況でした🍷



知
つ
と
ク

福祉 ～療育手帳～

療育手帳は、知的障がいのある方が申請できる手帳です。療育手帳には年齢制限はありませんが、児童相談所または知的障害者更生相談所で知的障がいであると判定された人が手帳の交付の対象となります。手帳を取得することで、さまざまな支援やサービスを受けることができます。



2024年度 新規採用職員 募集要項のご案内

社会福祉法人小羊学園では2024年4月採用の職員を募集しています。障がい福祉に興味のある方、福祉の道を考えている学生の方、お気軽にお問い合わせください。詳しくは法人HPをご確認ください。

○問合せ 法人本部 担当：古橋
☎053-584-3337

法人HP募集要項
QRコード

あ
と
が
き

コロナウイルスも5類となり、日常生活が少しずつ戻ってきました。県外へ日帰り旅行に行く事もでき普段とは違った1日を過ごせました。

そして4年振りに法人主催の運動会が開催されました。利用者の張り切る姿や久し振りに会った方達と交流し楽しむ姿を見る事ができ、嬉しく思いました。

今はインフルエンザが流行していますが、まだまだ感染予防は必要な毎日ですが、戻ってきた当たり前の日常を大切に日々健康に過ごしていきたいと思えます。

小羊学園を支える会

2023年度 寄付金報告

10月～11月分	1,812,865円 (88件)
累計	3,698,764円 (163件)

多くのお支えに感謝申し上げます

小羊学園への寄付金振込み先

郵便振替口座	00800-8-107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園
ゆうちょ銀行	〇八九店 当座預金0107785
口座名義	社会福祉法人小羊学園

ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。下記へご連絡ください。

小羊学園を支える会事務局 (鈴木)
小羊学園法人本部 ☎053-584-3337